

新年賀謹

市民の皆様とともに

幸手市長 町田英夫

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃より市政の進展に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

福祉の向上と市政の発展を

幸手市議会議長

大久保忠三

市民のみなさまには、輝かしい新春をお健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

常日頃より市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、世界不況といわれ



地方分権社会の到来を確たるものとするため、私たち市町村は、これまでの国や県に依存する自治から脱却し、自らの責任のもと、住民との協働により、地域の実情に即した行政を行い、新たな時代にふさわしい地方自治の確立に努めなくて



る中、日本の景気も一段と厳しい状況が続いています。不況は雇用の不安をまねくと同時に、国、地方自治体の税収減となり、財政環境の悪化に繋がります。当市も税収の確保、健全財政へ一層の推進が求められます。市議会も市民のみなさまの期待に添え

はなりません。

このため、本市といたしましても、厳しい財政状況下ではございますが、市民の皆様とともに、一步一步確実に活力あるまちづくりを進めてまいりたいと存じます。どうぞ市民の皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が、皆様にとりまして辛多き一年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

るよう、福祉の向上、市政発展を図ってまいります。

今年は栄中学校が閉校となる年でもあります。昭和61年の市制施行時には1013人の生徒数でしたが、その後は減少が続き、4月から3中学校になる寂しさをおぼえます。

栄地区の生徒のみなさんは遠距離通学になりますが、交通事故に遭わないよう十分注意してください。

結びにあたり、みなさまのご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

(5) バランスシート
で見る
幸手市の**財政**

市では平成19年度決算を受けてバランスシートを作成しました。

バランスシート（貸借対照表）は、ある時点で市の資産と将来返済する負債がどれくらいあるかを見て、市の財政が健全であるかを把握するためのものです。

問合せ 財政課 ☎ (43) 1111 内線 254

FAX (43) 3783

◆資産の部

有形固定資産／税などを支出して形成された公有財産で、減価償却後の価格を計上しています。土地代は買ったときの価格で計上しています。

投資等／投資および出資金、貸付金、基金（積立金）、市町村総合事務組合退職手当積立金の基準日残高を計上しました。
流動資産／流動性の高い基金である「財政調整基金」および「減債基金」、「歳計現金」並びに「未収金」を計上しました。

◆負債の部

固定負債／市の借入金である地方債残高および債務負担行為、退職給与引当金を計上しました。将来において支払う必要のある金額です。退職給与引当金は、平成19年度末に全職員が普通退職したと推定し、その要求額を計上したものです。

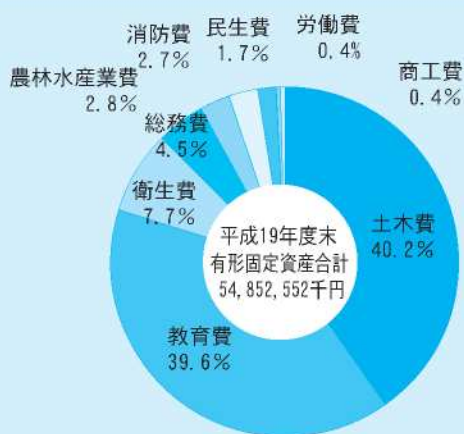
流動負債／地方債のうち翌年度償還予定額を計上しました。資産を取得したため、翌年度において支払う必要のあるものです。

◆正味資産の部

正味資産／資産の取得にあたり、既に支払に充てた金額です。国や県からの補助金や返済義務のない自己資金がこれにあたります。

(平成20年3月31日現在 単位：千円)

借 方		貸 方	
《資産の部》		《負債の部》	
1 有形固定資産	54,852,552	1 固定負債	16,154,882
総務費	2,469,871	地方債	11,595,698
民生費	929,807	債務負担行為	323,798
衛生費	4,205,215	退職給与引当金	4,235,386
労働費	230,965		
農水費	1,551,249	2 流動負債	1,695,495
商工費	209,504	翌年度償還予定額	1,695,495
土木費	22,062,959	翌年度繰上充用金	0
消防費	1,493,589		
教育費	21,699,393		
その他	0		
(うち土地)	15,819,732)	負債合計	17,850,377
2 投資等	1,366,415	《正味資産の部》	
投資および出資金	59,095	1 国庫支出金	5,076,410
貸付金	759,228	2 都道府県支出金	1,098,879
基金	234,240		
退職手当組合積立金	313,852	3 一般財源等	34,120,551
3 流動資産	1,927,250	正味資産合計	40,295,840
現金・預金	1,304,133		
未収金	623,117		
資産合計	58,146,217	負債・正味資産合計	58,146,217



▲行政目的別有形固定資産割合

$$\frac{\text{正味資産合計}}{\text{有形固定資産合計}} = \text{これまでの世代による社会資本形成の負担比率}$$

これまでの世代が 負担した割合 73.5%	これからの世代が 負担する割合 26.5%
-----------------------------	-----------------------------

▲社会資本形成の世代間負担の状況

▼行政目的別有形固定資産
割合

行政目的別有形固定資産の割合を見ることにより、分野ごとの資本形成の比重を把握することができます。

▼社会資本形成の世代間負担割合

社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産（市税、国・県支出金など借金以外で形成されているもの）による整備の割合を見ることで、これまでの世代によってすでに負担された分の割合を見ることが出来ます。この比率が高いほど将来の世代への負担が少ないことを表しています。

幸手市では平成19年度末現在で73・5％となっています。